

日本の腎移植数は2019年まで徐々に増加してきた、ところが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延により2020年からその数は減少した。もともと少ない献腎移植数が減少したことはとくに残念である。また、COVID-19による腎移植患者の死亡率は一般人を大きく上回り、透析患者の被害も大きく、高齢者を中心に他界される症例が目立った。ある感染症パンデミックが移植医療や透析医療に大きなダメージを与える場面に遭遇する機会はまれである。ゆえに、ある意味では貴重な経験であり、この経験を後世に語り伝える必要がある。また同時に、今一度、移植医療や透析医療を考え直すべき機会ではないかと考える。

この特集では、腎移植と透析の移行期に関する

諸問題を取り上げた。透析室スタッフにとって、腎移植患者に接する機会は比較的少ない。しかし、腎移植を希望する患者、腎移植後透析再導入に至る患者に遭遇することもある。そのため、一定の腎移植に関する知識は必要である。また、長生き時代である。自身や家族が腎不全に陥るかもしれない。腎移植を含む腎代替療法の現状に関する正確な知識をもっておいて損はない。腎移植施設はどこにあるのか。腎移植施設にはどのように紹介すればいいのか。献腎移植登録者にはどのような対応したらいいのか。などなど日常浮かんでくる疑問にも答える内容になっている。透析室の勤務の合間でもよいので、目を通していただければ幸いである。

(西 慎一)

2022年(Vol.38)特集のご案内

- | | |
|--|------------------------------------|
| No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう | No.⑦ バスキュラーアクセスの作製・管理・修復の基本方針〔増刊号〕 |
| No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐる | No.⑧ もっと知ろう 透析室での腎移植問題—腎移植と透析の移行期 |
| No.③ 多職種連携による透析医療 | No.9 痛みを訴える透析患者にどう対応するか |
| No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療 | No.10 透析医療のジェンダーダイバーシティ |
| No.⑤ 透析療法における各種モニタリングのFront line | (既刊は○) |
| No.⑥ CKD 診療における漢方と補完代替療法 | |

臨牀透析® Vol.38 No.8

©2022年7月10日発行
定価:2,860円
(本体2,600円+税10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541